

## 座津武防災事業における環境保全対策について

北部国道事務所 調査課

川崎 聡  
川中留美

### 1. 内容

国頭村宇嘉地区では、台風時の異常気象には波浪による超波、大雨による土砂崩れ・落石等の恐れがあり、事前通行規制区間に指定されている。座津武防災事業はこのような問題を解消するため、土砂崩れ、落石等の危険箇所である座津武トンネルを回避し、併せて超波を解消することで事前通行規制区間の解除と脆弱な幹線道路機能の向上と改善を図る目的の事業である。

事業箇所は、ウミガメの産卵が見られる砂浜があり、オカガ二等の出現も多く確認される場所であることから、海岸への影響の低減など環境へ配慮した事業実施を進めているところである。

過年度設計では、施行時に砂浜の改変を伴う計画となっていた。当該箇所にある砂浜は毎年ウミガメが産卵に訪れる場所であることから、施行時でも改変を伴わない護岸形状の検討を行った。

また、オカガ二等が多数生息している地点でもあり、産卵のために道路を横断するオカガ二等の輪禍が発生していることから、輪禍対策として横断路設置などの保全対策について検討した。

#### 【ポスター内容】

##### ( 1 ) 座津武防災事業の概要

##### ( 2 ) 座津武防災事業周辺の小動物生息状況

ウミガメの産卵（個体数）を整理。

現地調査の結果（出現状況・暗渠調査・巣穴調査）

##### ( 3 ) 護岸形状の検討

##### ( 4 ) カニのロードキル対策

オカガ二等等に与える影響を整理

「移動経路の障害」「繁殖行動の障害」整理結果を基に保全対策案を作成

##### ( 5 ) 今後の注意点

### 2. 展示規模・イメージ

- ・展示物 5 枚程度（A 1 版）